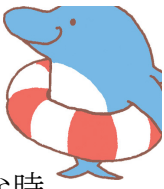




ぽっかぽか 7・8月号 うさぎ組



梅雨の時期に入り、雨が降って戸外遊びができない…なんてこともありました。そんな時にはホールへ行き、トランポリンや低いタイプの平均台で遊んだり、廊下では肋木のすべり台などをつかい、たくさん身体をつかって楽しめるようにしました。また、幼児組さんが飼っているカブト虫（幼虫）にも興味津々な子ども達。朝など時間を見つけては幼児さんにお邪魔して、カブト虫の幼虫を見せてもらったりもしました。また、晴れて天気の良いときには積極的に長久保公園へ出かけています。カブト虫もそうですが、虫に関心を寄せているうさぎ組の子ども達！アリやだんご虫など、自分から積極的に捕まえています。「みてー！捕まえたよー！」と嬉しそうな笑顔で友だちや大人に見せてくれます。これから夏になるとセミも登場しますね。今から子ども達がどんな反応をするのか、想像するだけでワクワクします。

プールあそび、始まりました！



先月26日にプール開きが行われました。はじめは軽い水遊び程度から始め、徐々にタライや水が少なめのプールに入る等などして、少しずつ慣らし、みんなが楽しくプール遊びをしていけるようにと考えています。保護者の方には毎回、プール遊びの水着やタオル等の準備をして頂くこととなります。何か分からないことがあればいつでもお気軽に担任までお声かけください。

たのしいね！ままごと遊び



ままごと遊びについて、先月号のぽっかぽかにも書かせて頂きましたが、今月号ではもう少し詳しく書かせて頂こうと思います。

子ども達は普段、保護者の方たちにしてもらったことをままごと遊びを通して、再現して遊んでいます。例えば、人形を抱っこしてあげる、お手玉やチェーン等でご飯を作る、また作ったご飯を人形に食べさせてあげる、布団に寝かしつけてあげる、お風呂に入れてあげる…等、人形をつかって思い思いにこれまで自分がしてもらったことをママになりきり、再現して遊んでいます。

私たち大人は、子ども達が仲良く、楽しく遊べるように保育士一人はままごとコーナーに入り、玩具の取り合いになったとき等は、どっちが先に使っていたか、確認し、順番に仲良く使えるように援助したり、ご飯のお手本を見せ、色使いやお手玉の置き方等、工夫して作れるようにしています。また、ままごとコーナーで遊べる人数は4人程度と設定し、その人数に合わせて玩具の量を設定しています。子ども同士のやりとりを見ていると、「かして」と友だちが言うと、快く相手のことを思って貸してくれたり、あるいは少し時間が経ってから貸してくれたりなどする姿も見られるようになってきました。こうした相手のことを思う優しい気持ちがたくさん出てきたことにも成長を感じます。

